

第4節 国際交流を推進する

■現状と課題（前期基本計画までの成果を踏まえて）

文化・経済など社会全般にわたり国際化が進むなかで、諸外国との交流を促進することにより、友好親善と相互理解を深め、世界の恒久平和に寄与するとともに、豊かな国際性を育てる環境づくりが求められています。

本市においては、世界の人々との友好親善や相互理解を深めるため、姉妹都市である大韓民国慶山市やアメリカ合衆国バンクーバー市をはじめ、各国との交流を市民参加による草の根交流などにより進めてきたことにより、市民団体などによる国際交流活動も定着しつつあります。

そのような状況のなか、国際交流活動の活性化に伴い言葉の違いや文化・生活習慣・価値観の違いを理解できるような国際感覚豊かな人材の育成が求められています。

今後は、国際交流協会と連携し、市民が主体となった国際交流活動を促進するとともに、市内在住の多くの外国人が、市民として安心して暮らせるまちづくりを推進することが必要です。

■基本方針

- 市民の国際交流、国際親善についての理解と関心を高め、市民の草の根レベルでの幅広い国際交流活動を推進することにより、諸外国との相互理解と一層の友好親善をめざします。
- 国際感覚豊かな人材の育成をめざします。
- 市内在住の外国人が市民として安心して暮らせる地域社会の実現をめざします。

■まちづくり指標

まちづくり指標名	説明	単位	現状値	5年後の目標	めざすべき目標
			(平成22年度)	(平成28年度)	
国際交流協会 会員数	個人、団体、賛助・ 法人の会員合計数	人	409	640	↑

■主な施策の展開

（1）国際交流活動の推進

姉妹都市盟約を締結している大韓民国慶山市、アメリカ合衆国バンクーバー市との円滑な交流を進めるとともに、国際交流協会と連携し様々な分野における国際交流活動など市民が主役となった草の根交流を推進します。

（2）国際感覚豊かな人材の育成

語学講座をはじめとした国際交流講座を通して国際理解の環境づくりと学習機会を提供するとともに、外国人との交流活動の実践や外国語教育の充実を図ることにより国際的な視野を備えた人材を育成します。

（3）外国人への生活支援

市内に在住する外国人が、市民として安心して暮らせるよう、外国語による表記、日本語支援ボランティアの育成や日本語習得への支援などを推進します。

■市民まちづくりワークショップからの提言（平成18年）

市民の役割（例示）

- 大韓民国慶山市、アメリカ合衆国バンクーバー市との交流活動に積極的に参加する。
- さまざまな国際交流活動に積極的に参加し、国際的な視野、感覚などを養う。

■PR施策

○城陽市の姉妹都市

本市においては、世界の人々との友好親善や相互理解を深めるため、1991年1月22日に大韓民国慶山市と、1995年10月30日にアメリカ合衆国バンクーバー市と姉妹都市盟約を締結しています。

慶山市中学生の受け入れや韓国への中学生派遣、バンクーバー市や慶山市との絵画交流等を実施することで友好親善と相互理解を深め、世界の恒久平和に寄与するとともに、豊かな国際性を育てる環境づくりを推進しています。



【慶山市中学生受入事業】